

平成27年度 公開授業研究会のご案内

21世紀を生きるための「教養」を高める学びの創造 (2年次)



平成27年
11月28日[土]
9:15～16:30
(受付は8:45～)

グローバル時代において、自己の生きる基軸を構築し、「地球市民」として適切に判断し行動するためには「教養」が必要です。そこで本校では、〈21世紀を生きるために必要な「教養」〉をいかに高めるかという研究に取り組み、2年目となりました。

本年度は、特に「問い、考え、表現する」ことを大切に授業づくりを行っています。研究会では、本校教諭全員が授業を公開し、分科会では各教科の研究の取り組みを提案いたします。また、グローバル教育ご専門の多田孝志先生のご講演を予定しております。

つきましては、ご多用中とは存じますが、是非ご来校いただき、本校の実践研究に忌憚のないご意見、ご批評を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年10月

茨城大学教育学部附属中学校長 木村 美智子

8:45	9:15	10:00	10:15	11:05	11:20	12:10	13:10	14:40	14:55	16:30
受付	全体会	移動	公開授業①	移動	公開授業②	昼食	分科会	移動	講演	

公開授業① [国語, 社会, 理科, 音楽, 保健体育, 技術分野, 外国語(英語), 特別活動]

公開授業② [国語, 数学, 美術, 保健体育, 家庭分野, 外国語(英語), 道徳, 総合的な学習の時間]

演題: 「グローバル時代の教養, その考え方と授業づくり」

講師: 多田 孝志 氏 (目白大学人間学部教授)

学習スキル研究会代表, 日本学校教育学会 会長 他



茨城大学教育学部附属中学校

主催: 茨城大学教育学部附属中学校, 後援: 茨城県教育委員会 / 茨城県教育研究会

公開授業 ① 10時15分～11時05分

教科領域	授業者 公開学級	単元・題材名 (授業説明)	助言者 共同研究者
外国語 (英語)	小松崎美重 1年1組	<p style="text-align: center;">「Lesson 8 初めての点字」</p> <p>ループリックを用いた3人組の会話練習において、流暢さを伸ばすための指導に取り組んでいます。Whichを用いた話題について「問い」「考え」「表現する」態度を育むことを目指します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 高野香保里 先生 茨城大学教育学部 猪井 新一 先生
保健体育	前堀 景 1年3組	<p style="text-align: center;">「運動やスポーツへのかかわり方」</p> <p>駅伝を題材に、誰もが積極的にスポーツに親しもうとする授業をデザインします。「する」「みる」「支える」かかわりに着目し、「クラスワーク」の基礎を学ぶ体育理論のあり方を提案します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部保健体育課 山本 一典 先生 茨城大学教育学部 日下 裕弘 先生 中嶋 哲也 先生
社会	齋藤 和浩 1年4組	<p style="text-align: center;">「中世の文化 ～鎌倉仏教～」</p> <p>鎌倉時代に新たに生まれた仏教。800年経った現在の私たちの生活にも深く関わっています。この新仏教が人々に受け入れられた背景を当時の人々の生活の様子を考えながら探っていきます。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 川中 俊治 先生 茨城大学教育学部 村山 朝子 先生 木村 勝彦 先生
音楽	井上 寛士 2年1組	<p style="text-align: center;">「歌うようにリコーダーを演奏しよう」</p> <p>「夏の思い出」をアルトリコーダーで演奏します。歌唱教材や他の曲で学習したことを活かしながら、アルトリコーダーでどう音楽表現を工夫するか、探究する授業を提案します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 岡部 正徳 先生 茨城大学教育学部 藤田 文子 先生
技術分野	滝本 穰治 2年4組	<p style="text-align: center;">「卒業式を彩る植物を育てよう」</p> <p>3月の卒業式に飾る植物の育成計画を立てます。制約条件下でどのように計画を立てるか、「問い」「考え」「表現する」態度を育むことを目指します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 太田 雅彦 先生 茨城大学教育学部 大西 有 先生
理科	船山 知暁 3年2組	<p style="text-align: center;">「化学変化とイオン」</p> <p>化学電池のしくみに迫るために、酸の水溶液中での金属板の変化について説明する活動を行います。「問い」「考え」「表現する」ことをくり返しながら課題を解決していく授業を提案します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 若松 裕一 先生 茨城大学教育学部 山本 勝博 先生
特別活動 (学級活動) ※	菊池 康浩 3年3組	<p style="text-align: center;">「自己実現のために」</p> <p>3年生が今悩んでいることについての話し合い活動を行います。集団思考を生かして個人目標の自己決定をし、実践意欲を高めることを通して、自主的な態度を育むことを目指します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 宮澤 和弘 先生 茨城大学教育学部 杉本 憲子 先生
国語	矢崎 寛子 3年4組	<p style="text-align: center;">「見えないものが見える化しよう ～君も今日から審査員～」</p> <p>批評文を書くにあたり、新聞広告の分析を踏まえ、グループによる比較、検討を行います。協同的な学びにより、自分の考えを整理し、明確にしていく授業を提案します。</p>	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 木村 真理 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生

※ 特別活動(学級活動)の分科会はありません。

公開授業 ② 11時20分～12時10分

教科領域	授業者 公開学級	単元・題材名 (授業説明)	助言者 共同研究者
家庭分野	高崎 昌己 1年2組	「よりよい消費生活行動とは ～エンカルをキーワードに～」 衣服が作られるところから廃棄されるところまでの資料を分析し、どの衣服を選択することが最適切かを話し合いを通して判断します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 岡田 奈奈 先生 茨城大学教育学部 野中美津枝 先生
数 学	宇陀 定司 1年3組	「資料の整理と活用 ～資料の活用～」 具体的な統計資料を基に、資料の傾向を調べます。ヒストグラムをつくらせたり、求めた代表値の意味について考察したりすることを通して、資料の傾向を明らかにしていく授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 小林 栄司 先生 茨城大学教育学部 根本 博 先生
道 徳 ※	久保 鉄平 2年2組	「家族の一員として」 ある医師の体験談をもとに、集団の中の一員としての自分のあり方を考えます。 資料を読んだ生徒たちがどんな問いをもつのかを大切にし、考え、表現する道徳を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 岡部 正徳 先生 茨城大学教育学部 生越 達 先生
美 術	水野 涼子 2年3組	「日本の美意識 ～スケッチと制作のつながり～」 表現の原点と言われるスケッチを本制作につなげるプロセスを対話の中から発見し、スケッチの意味を一人一人が実感をもって感じ取ることができる授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 宮澤 和弘 先生 茨城大学教育学部 金子 一夫 先生
国 語	開田 晃央 2年4組	「調べて考えたことを伝えよう～慣用表現をエピソードで表したレポート～」 慣用表現をエピソードで表したレポートについて、エピソードが慣用表現を表す内容として妥当かどうかを協同的に検討し、推敲していく授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 木村 真理 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生
保健体育	木谷 晋平 3年1・2組	「球技 ソフトボール」 スポーツの特性に応じて生徒が多様にかかわり合う「クラスワーク」。ベースボール型の球技を題材に、一人一人が、チームが、そして学級全体が能動的に学び合う授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部保健体育課 山本 一典 先生 茨城大学教育学部 日下 裕弘 先生 中嶋 哲也 先生
総合的な 学習の時間 「グローバル市民科」 ※	田中 正彦 3年3組	「持続可能な社会 ～世界の格差をなくすには～」 持続可能な社会や格差のない社会を築くためには、自分に何ができるかを考え、実際に行動することが大切です。何ができるのか、周りではどんな取り組みがされているのかを考えることを通じて、世界や地域のために何か行動しようとする(社会に参画する)態度を身に付けていきます。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 水内 幸恵 先生 茨城大学教育学部 青柳 路子 先生
外国語 (英語)	小沢 浩 3年4組	「Interesting Languages, 大切な人について書いてみよう」 自律的学習者として主体的に学習する生徒の育成のために、ルーブリック、帯活動、小グループを導入した授業を日々展開しています。その導入の仕方、また、「問い」をもたせる知的言語活動について提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 高野香保里 先生 茨城大学教育学部 猪井 新一 先生

※ 道徳及び総合的な学習の時間「グローバル市民科」の分科会はありません。

交通のご案内

○ JR水戸駅から(茨城交通バス)

水戸駅北口バスターミナル7番のりば
栄町経由 茨大または渡里行き乗車
袴塚2丁目下車 徒歩3分

○ JR赤塚駅から(茨城交通バス)

曙町経由 茨大行き乗車
附属中前下車 徒歩1分

○ 自家用車をご利用の場合

常磐自動車道水戸インターより車で15分
那珂インターより車で10分

※ 一般参加の方の駐車場は茨城大学本部キャンパスになります。
茨城大学から本校まで徒歩で5分程度かかりますので、余裕をもってお越しください。なお、スペースに限りがありますので、自家用車でのご来校はなるべくご遠慮ください。



参加費

お一人様 1,000円(資料代を含む)

※ 学生は無料(ただし資料が必要な時は1,000円)

申込方法

別紙の「公開授業研究会参加申込書」にご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。もしくは、本校Webページの[研究]より、Eメールにてお申し込みください。

※ 当日の参加申し込みも受け付けます。

【申込先】

〒310-0056 茨城県水戸市文京1-3-32

茨城大学教育学部附属中学校 TEL 029-221-5802 FAX 029-221-3387

WebページURL: <http://www.jsch.ibaraki.ac.jp/> E-mail: jhs@ml.ibaraki.ac.jp

昼食

当日、昼食用お弁当の注文をお受けします。

● 料金は1,000円です。(飲み物代を含みます)

● 8:45~9:15に、昼食申込用受付にて代金を添えてお申し込みください。

引換券をお渡ししますので、お弁当は昼食時にお受け取りください。

※ 本校周辺には、食堂・レストラン・コンビニエンスストア等が少ないのでご注意ください。